

第1回 県・市町村による新型コロナウイルス感染症対策連絡会議

日時 令和2年4月23日（木） 11:00～11:30

場所 青森県庁 第三応接室

（司会）

それではおそろいでございますので、ただいまから県・市町村による新型コロナウイルス感染症対策連絡会議を開催させていただきます。

本日の進行役を務めさせていただきます市町村課長の宇野でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議は、県・市町村が連携いたしまして一丸となって新型コロナウイルス感染症対策に万全を期することで、県民の命と暮らしを守ることを確認することを目的といたしまして開催するものでございます。

市町村を代表いたしまして小野寺市町村会長、それから浜谷町村会会長に御出席いただいております。

それでは早速ではございますが新型コロナウイルス感染症対策に関しまして市長会会長小野寺青森市長様から御発言をいたします。よろしくお願ひします。

（市長会会長）

本日は青森県市長会会長ということでお邪魔させていただきました。まずもって御礼を申し上げたいと思います。

県・市町村による新型コロナウイルス感染症対策連絡会議という形で私ども市町村の声を聴き、また連携を図る場をこのように新設いただいたということに本当に心から感謝を申し上げたいと思います。

県民の安心のためにも、市民、町村民の皆様の安心の意味でも大きな意味があると思います。私どもの方から4月17日（金）に市長会総会でのテレビ会議形式ではございましたが、お手元に国に対する緊急決議をお配りをさせていただいております。

こちらはこの総会で決議したものでありまして、内容は10項目、マスク、消毒液、地域経済の活性化に至るまで10点決議をしたところでございます。

ただいずれの項目につきましても国に対する決議ではございますけれども、国、県、そして私ども市町村が連携してやっていくことが大事なもののばかりでございますので、なにぶんにも三村知事、そして県のお力添えをお願いしたいということをまず申し上げます。

それからもう1つは新型コロナウイルスアピールの、こちらの1枚紙の方も同じ4月17日決議したところでございます。実はその時もパネルを持って参りました。

総会後の記者会見でも、全市長、10市長が同じパネルをもって、テレビ会議ですからテ

レビの中ではありますけれども、この3つの対策をパネルを使って呼びかけさせていただきました。

1つは総会ということもありましたけれども、やはりゴールデンウィーク中は御遠慮いただきたいということ、そしてもともとは7つの都道府県で黄色く塗っていたのですが、あっという間に全部黄色になってしまいました。行き来についてぜひ自粛をいただきたいということ、そして三密を回避するという、あるいは何度も呼び掛けていただきますけれども、こちらについて特に重要なものを市長会シールという形で呼び掛けさせていただきました。

また、知事さんにも、また浜谷町長さんにも御賛同いただければ、後ほど記者会見が終了し写真撮影があるときに一緒に撮っていただければなお嬉しいということ、この場でお願い申し上げたいと思っております。

なお、その総会で各市長からたくさん意見が出たのですが、一番は県と市町村が連携して、一丸となってこの感染症対策に取り組むべきとの意見が最大公約数でございます。

現在、私ども各市においても独自の事業者支援等、取り組んでいる状況でございます。本県全体の経済が大変疲弊しているところでございますので、県におかれましても、各市町村のそれぞれの自主的な取組についても支援についてお計らいくださいますよう、なにとぞお願い申し上げます。

以上でございます。どうぞよろしく申し上げます。

(司会)

ありがとうございました。続きまして、町村会会長の浜谷階上町長様から御発言をいただきます。よろしくお願いいいたします。

(町村会会長)

本日、三村知事におかれましては、大変お忙しい中、時間を割いていただき御礼申し上げます。また、日々全庁挙げまして新型コロナウイルス対策に御尽力されていることに対しまして、感謝を申し上げます。

本会においても、先ほど小野寺市長からもありましたけれども、これまで以上に危機感をもって対応するべきとの考えで、去る4月10日に市長会とともに、お花見や不要不急の外出の自粛などを求める市長会・町村会の共同メッセージを発信したところでございます。

幸いなことに、県内では4月12日以降は新たな感染者の発生はみられておりません。しかし、国が緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大していく中であって、新型コロナウイルス感染症対策は、私も去る3月31日に知事さんと健康福祉部長さんにも要請いたしましたように、何よりも県と市町村が緊密に連携し、また情報を共有することによって初動対応にしっかりと取り組むことが大変重要であると認識しております。

県におかれましては、引き続き、保健所、各市町村及び医療機関等の連絡・連携体制の強

化を図って、迅速かつ適確な情報共有をお願いいたしますとともに、特にマスク、アルコール消毒液等の物資不足への供給支援、あるいは医療提供体制の確保など十分に御配慮いただきますようお願いしたいと思います。

最後に地域経済対策について申し上げたいと思います。現在の感染拡大の影響につきましては、各町村においては、春まつりなどイベントの中止、また外出、外での飲食の自粛の動きとか、さらには農林水産物の消費の落ち込みによる価格低迷などによって、県内町村の地域経済にも様々な業種において大きな影響を及ぼしはじめております。このような中で各町村では、それぞれが町内の飲食店事業者に独自に支援金を給付するなどの取組もみられておりますけれども、一方では自治体間で対応が異なるというようなことに対して、少し不公平感をもたらしかねないというようなことが懸念されるところでもあります。

県におかれましては、これまでも“地域で経済を回す取組”というようなことを知事様が常々重点的に進めてこられたところでもありますけれども、このままでは地域経済自体が壊れていく状況にあると考えます。

感染拡大の影響を少しでもくい止めるべく、県内町村が実施していこうとしている地域経済を維持・回復するための主体的な取組については、強力に御支援していただきたいということをよろしくお願いいたします。

今後とも、この「世紀の難局」である新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、そして地域経済の維持・回復に向けて、県と緊密に連携をして、一体となって取り組んで参りたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

(知事)

市町村の創意工夫に対しては応えていきたいと思えます。

(司会)

ありがとうございました。続きまして意見交換に入らせていただきたいと思えます。

特に、テーマ等は設定してございませんので、まずは小野寺会長さん、何かございましたらよろしくお願いいたします。

(市長会会長)

テーマはないということですが、一つだけ市長会の総会の中で出た議論として預かってきた部分もあるので、一つお話しさせていただきますが、市町村長会議について5月28日午前中にこれまで調整をいただいたところではありますが、中止をせざるを得ないと連絡をいただいたところがございます。ただ、市長会の中では、4月17日に我々がやった会議、テレビ会議で開催をしております、テレビ会議でも実行は可能だということで、何とか実現できないかという御要望ありました。これはテーマというよりは、実際に各市長さんから御意見あったので、ぜひお伝えしたいと思ひまして、知事さんからもぜひお考えを聞

ければいいなと思って参った次第です。

(知事)

実は知事要望40市町村、やろうとしたんだけど、なかなか。8人から10人くらいしかできないとかね。いろんなことあって。なかなか前向きになってないということだけでなく。町村は特にそうだけど、実際の設定とかなかなか検討はさせてもらうけども。知事会ですらもどう線つなぐんだという状態で。意見としてあったということで、これからはそういう時代なんだと思うので、はい。システムとか、分割して今度は。

(市長会会長)

昨日の県の経済対策でも県立学校のICT化というのが。教育庁さんおられるか。

(知事)

そう授業することにしたし。いろんなことすることとしたい。スマホもってない子とかね。貸出しとか。教育にしてももうとりあえずね。やっていこうと。

(市長会会長)

実際青森市の小学4年生がズームで実際には授業を受けてもらうことにしてやっているよと。40人学級ですけど。もちろんつかえたり、とまったりするという不具合はあるけれど。青森市は、いつでも県庁に走ってくればいいけど。階上から今日浜谷町長さん来ていただいて。道路がきちんとしていけばいいけど。災害があつたりして階上から来れないということも当然ありえたりするので。そのへんは、できる限り速やかにテレビ会議でも40市町村とも連絡会議が、万が一県庁の職員や市の職員が発症した場合でもやらなきゃいけない場合もあると思いますので。体制を急いで整備していただけるとありがたい。ぜひよろしくお願いします。

(知事)

震災のときは電話も通じなくて。非常回線使って、電源が落ちてとかね。それなりにけっこう進んできたんだけど。ロットが40とか47とかになるとなかなかって状況で。受け止めます。

(市長会会長)

100人までできるそうなので。御検討いただければと思います。私ばかりもあれなので、浜谷さんも。

(町村会会長)

町村会30町村あるのですが、そういった中で各首長さんから色々御意見いただきまし

た。そういった中で先ほどの話以外にも、2、3話を紹介させていただきたいんですけども。まず、町村の場合は自治体病院。自治体病院であるがゆえのいろんな難しさというのがあるわけです。

(知事)

自分もやりましたから。

(町村会会長)

そういった中で、今、これまでにない自然災害でない現在のこういうふうな対応につきまして、先ほども言いましたように、物資の不足というようなこと、特にですね、先のことを考えて、防護服など、そういった医療物資の不足に直面しているという非常にこういう恐怖を感じている。もし発熱外来とか、コロナ関連感染症を疑われるような患者の受入れ、今いろいろ毎日ニュース報道されていますけれども、怖いのでは、外来受付の感染なども想定されかねないというのがあります。こういった感染症対策に係る経費も含めて、国の方にしっかりと財政支援していただきたいというのが一つでございます。また、あわせて、今、国で発表されました給付金。この手続、各市町村においていろんな方法が言われておりますけれども、現場において職員に対して混乱とか過度な負担というのはできるだけ生じないように。それでなくても今の感染症対策で混乱しておりますので、この辺についてもできるだけ簡素化をして国の責任においてやっていただきたいなということを申し上げたいと思います。いろいろありますけれども、連携第一でひとつよろしくお願いします。

(知事)

市町村との連携、それから国に対しても相当知事会でも。相当やり取りしているんだけど。追加が出ないと言われるとちょっと。

(市長会会長)

一兆円の交付金を追加しないというのが。

(知事)

またこれからが知事会のがんばりどころなのでやりますし。県としてもしっかりと市町村に対しての在り方、またいろんな経済の状況の指針に対してのあり方、本気で考えていますので。今日はありがとう。

(町村会会長)

自治体は、ほんとに現場地域住民の直接的な声を伝えないと。声にしなないとなかなか届きにくいということで、あえて申し上げさせていいただきました。知事はもうずっと経験されてい

ますけれども、そういう現状を表明させてもらいますので、なにとぞよろしくお願いします。

(市長会会長)

実際に、南部町さんとか今別町とか、町の方がずっと先に独自の経済対策やっておられて、市部の方も一生懸命追いかけるような状況です。知事さんから今しっかり応援されるということを考えているということで大変ありがたいことです。ただ、一兆円の例の交付金を増額しないということを官房長官がおっしゃっていた。やっぱりここから先まだ長いと思うんですね、経済対策は。

(知事)

言ってることはわかるけれども、分析したところ、え〜という感じで。

(市長会会長)

県に来る額ですか。

(知事)

実際の。

(市長会会長)

県でそれだと。階上にいく分がそのくらいしか。みんな東京都知事にとられちゃうと。

(知事)

それを言っただけじゃダメじゃないかと。県として、それぞれに色々と工夫・努力してくださっている中で、そこにどうかかるかという部分も検討していかないといけない。

(町村会会長)

まあ、それぞれ独自の、ない金と知恵を絞ってやっていくのですが、これがなかなか、この方式というのがないので、ぜひ、県としても早急にアウトライン、ガイドラインを検討してほしい。

(知事)

こういうことはどうでしょうか、という事例を今、企画の方で考えております。

(町村会会長)

そういった分析を示していただきたいです。本当にもう、皆一生懸命、悩んで頑張っていますので。

(知事)

市町村の職員に来てもらって、ずっと勉強会をやっていて、そういうメンバーもいてくれるので、現場とのやり取りをしてくれる職員もいるので、そういう強いネットワークがあるので、こういうことでどうでしょうかということを事例をしっかりと。

(町村会会長)

いっぱいありますけども、よろしくをお願いします。

(市長会会長)

感染症の情報の関係で、これも市長会の中で出た議論なのでお伝えするのですが、市と町と村で感染者に関連する情報の持ち方が当然違ったり、保健所が青森市と八戸市にはありますけども、それ以外の町村とも情報の持ち方が、県は全体を見ていただいていますけども、各市・市民の皆様はそれぞれ伝わる情報が違ったり、昨日の県議会でもそういった議論があったようですけども、やっぱり、自分の町・村はどうなんだろうと御意見はたくさんあるようですので。できる限り、広めにとっても限界はあるんですけども、町・村・各市でも、できるだけ同じ情報を県と共有して、協力して当たれるようにしたいというのは4月17日の市長会の会合でも出た意見ですので、お伝えさせていただきたい。

(知事)

適切な情報を適切に伝えるというのはこれまでもしてきたことですし、これからもしていきたい。先般来てくれた時に、うちの有賀健康福祉部長と一緒に話したとおり、それぞれの首長さんには非常に守秘義務を徹底した上でお伝えしていく、ということによろしいでしょうか。

(町村会会長)

自分なりにも考えました。危機管理として、初動の対応といった部分について情報の共有を行っていきたい。以上でございます。

(知事)

新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大して、対応が長期化する中、市町村長の皆様におかれましては、厳しい環境の中で、連日、感染の拡大防止や感染患者への対応、あるいは住民生活の維持、安全・安心の確保のために尽力していただいております。本当に心から感謝申し上げます。

県では、これまで、市町村長の皆様、県民の皆様の御理解と御協力をいただきながら、感染予防・拡大防止に全力で取り組んできたところです。

しかし、目に見えないウイルスとの戦いということもあり、県民の皆様には不安が広がっており、そして地域経済への影響も計り知れない、そう思っています。この難局を乗り切っていくためには、市町村はじめとして、関係機関が密接に、今お話ありましたとおり連携して一丸となって取り組んでいく必要があると思っております。

県民の命と暮らしを、力を合わせて守っていくため、本日の市町村の思いもしっかりと受け止めて、何よりも感染拡大防止に万全を期すとともに、地域経済の回復、あるいは県民生活の維持など、必要な施策を迅速かつ全力で進めていく決意でございます。

なにとぞ市町村長の皆様におかれましても、今後とも、一層の御協力をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

(司会)

以上を持ちまして、連絡会議は終了となります。

最後にお三方でパネルを持っていただいて写真撮影をよろしくをお願いいたします。